

市では、昭和45年に創設した「田辺市文化賞」の制度を継承し、毎年、この時期に市の文化（学術、芸術、体育、生活文化等）の発展に貢献された方に本賞を贈り、その功績をたたえています。創設から54回目を迎えた本年は、次のお二方に本賞をお贈りすることに決定しました。 図秘書課 秘書係 ☎ 0739 (26) 9910

略歴

昭和62年 田辺市に移住、妻の実家の製煤業を継ぎ、紀州松煙代表となる
平成4年頃 田辺市鮎川に工房「紀船煙」を構える
その後、40年ほど途絶えていた紀州松煙墨の製作を開始
平成10年 墨に顔料を混ぜて色を付けた彩煙墨を開発

受賞歴

平成16年 きのくに技能奨励賞（和歌山県）
平成27年 清流の国・森の恵み大賞 森の恵み部門 優秀賞（岐阜県）
令和4年 和歌山県名匠表彰（和歌山県）



堀池 雅夫 氏
(文里一丁目)

田辺市文化賞受賞コメント

私の携わる墨作り職人の仕事は地味で目立たず、同じことの繰り返しであります。30年以上にわたり続けて来て、ばつばつ終活の年齢になり、この時期にこの賞を頂きましたことはこの上なくうれしく、また新たにやり残した仕事に対して残りの一生をかけてやり遂げたい思いが沸々と湧き上がつてきました。今後も皆さまからのご指導ご鞭撻を賜り、微力ながら和歌山の伝統産業の発展に貢献していく所存であります。

【受賞者の紹介】

35歳の時に田辺市に移住し、妻の実家の製煤業を継ぐ。当初は鉱物性油煙を製造していたが、知人の墨屋から懇願され、松の煤（松煙）の製造を始める。時代が変化する中、固形墨の需要の減少により、原料となる煤が売れなくなってしまったことから、氏は決意し自ら製造した松煙を用いて松煙墨の製作を始める。

松煙墨は、奈良時代にはすでに日本で製作されており、特に紀州松煙墨は、平安時代、熊野詣に訪れた上皇に献上された名墨である。その原料となる松煙の製造は、山村の貴重な現金収入であり、かつて紀州の山々には多くの「煙屋」がいたが、昭和30年代になり、製煤業の過酷さや松材の減少、価格の安い墨の普及により、紀州松煙墨は途絶えた。その松煙墨の製作を復活させたのが堀池氏である。

古来、松煙は障子で囲った小部屋に焚窓を設置し、松材を燃やして障子に煤を付着させて採取し

てきた。氏は障子の代わりに金網を用いつつ、他は全て自身の調査により復元した伝統的な製煤方法を踏襲し製造する。集めた煤に膠を少しづつ加えながら丁寧に練りこみ、それを型に入れ、灰の中で乾燥させて墨に仕上げるまで半年以上を要す。

松煙墨は、美しいにじみと青みを帯びた黒い色にあり、書道家だけではなく芸術家にも愛用者が多くいる。

製煤から松煙墨製作まで一貫して行う職人は全国で氏ただ一人であり、氏の松煙墨は、独特のにじみと黒の色彩が高く評価されている。

紀州松煙墨製作の復活は言うまでもなく、鮮やかな色を付けた墨を創案するなど伝統を守りながらも新たな取組に挑戦するとともに、墨の製作と向き合い、墨の良さを伝えることで、郷土が誇る紀州松煙墨を未来に残そうと、日々尽力してきた氏の功績は誠に多大である。

市の文化の発展に貢献された方の功績をたたえて

田辺市文化賞の受賞者を紹介します

略歴

平成14年 四村川小学校（平成18年本宮小学校に統合）校長に赴任後、「大瀬の太鼓踊」の授業に積極的に参加
平成18年 本宮小学校では地域から学ぶ民俗芸能継承の取組を継続し、新たに「平治川の長刀踊」を授業に加える
平成20年 熊野本宮伝統芸能教室と熊野本宮伝統芸能子ども教室を発足、「大瀬の太鼓踊」と「平治川の長刀踊」の伝承活動を開始
平成25年 第28回国民文化祭・やまなし2013「民謡・民舞の祭典」に出演、「平治川の長刀踊」を披露
平成28年 熊野本宮伝統芸能教室が大瀬太鼓踊保存会を継承
令和3年 第63回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会に出演「大瀬の太鼓踊」を披露

受賞歴

令和2年 大瀬太鼓踊保存会として和歌山県教育委員会功労賞（社会教育部門団体の部）（和歌山県）



羽根 千恵子 氏
(本宮町諏川)

田辺市文化賞受賞コメント

私が「大瀬の太鼓踊」と出会って22年、「平治川の長刀踊」と出会って18年経ちます。その間に“太鼓踊が消えて行く！長刀踊を何とかしなければ！”という思いから、退職後、二つの教室を発足し、練習を重ねてまいりました。たくさんの仲間や子どもたち、保護者の皆さんに支えられいろんなところで発表させていただいたことに改めて感謝申し上げます。この受賞を一層の励みとして、本宮町の和歌山県無形民俗文化財伝承に仲間と共に尽力してまいります。

【受賞者の紹介】

本宮町には、大瀬地区の「大瀬の太鼓踊」、住民が集団移転をして無人となった平治川地区の「平治川の長刀踊」、土河屋地区の「お夏清十郎踊り」、萩地区的「萩の餅踊り」、伏押地区的「伏押の盆踊り」の五つの踊りが県の無形民俗文化財に指定されており、四村川小学校では平成7年から民俗芸能の継承を目的に「大瀬の太鼓踊」を授業に取り入れていた。平成14年に氏が赴任すると、小さい頃から踊りや太鼓に興味があったことから、その授業に積極的に参加し、以降地域の民俗芸能に意欲的に関わることとなる。

五つの踊りにはそれぞれ保存会があるが、民俗芸能を習得する人口が減少し、次世代への伝承に困難さを伴うようになっていたことから、郷土の民俗芸能を未来に引き継いでいきたいと、氏が発起人となり、平成20年に熊野本宮伝統芸能教室と熊野本宮伝統芸能子ども教室を発足し、民俗芸能の継承により郷土愛が芽生え、本宮町の活性化

につながることを願い、毎月定期的に集まり、踊りの稽古に勤しむ。

また、「大瀬の太鼓踊」など後世に長く伝承するため、本宮地域の住民有志とともに本宮町で開かれている地域のイベント等で披露し、民俗芸能のすばらしさを伝えるとともに、第28回国民文化祭・やまなし2013に出演するなど、郷土の民俗芸能を広く公開することで伝承意欲の向上を図るほか、民俗芸能への理解を深めようと尽力する。

このように、民俗芸能を継承し、保存と伝承に尽力する氏の活動は地域の文化の豊かさを守るうえで非常に重要であり、また、活動を通じて地域文化の担い手づくりや地域住民の世代間の融和を図り、郷土の歴史と文化の学習の機会を確保するなど、郷土の民俗芸能の保存と伝承に努めてきた氏の功績は誠に多大である。

市立美術館収蔵の名品をぜひこの機会に！

近代洋画コレクション展を開催します

市立美術館の近代洋画コレクションの中から、当市出身の経渉学者で優れた美術品のコレクターだった脇村義太郎氏のコレクションと、当館が開館当初から注目して収集してきた水彩画のコレクションを紹介します。

■ 12月16日㊁～令和6年1月28日㊁
毎10時～17時（最終入館16時30分）

毎週㊁（1月8日は開館）、12月28日㊁～1

月4日㊁、1月9日㊁

場市立美術館

260円（学生及び18歳未満の方は無料）

【展示解説会】

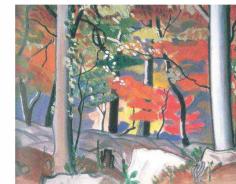
■毎令和6年1月6日㊁・20日㊁14時～
いずれも当館学芸員が行います。予約不要、観覧料のみ必要です。

問市立美術館

0739（24）3770



▲佐伯祐三
《リュクサンブル公園》
1927年 市立美術館蔵



▲中西利雄《紅葉》
1938年 市立美術館蔵

熊野古道から未来へつながる道を考えよう

第14回世界遺産学習全国サミット in たなべ

12月8日㊁～10日㊁に第14回世界遺産学習全国サミット in たなべを開催します。12月9日㊁はどなたでも参加できますので、小中学生の発表や記念講演にぜひお越しください。

■ 12月9日㊁

問紀南文化会館

時間	会場	内容
9時30分～ 11時30分	小ホール	ポスターセッション（小中学校実践発表）他
13時～ 16時30分	大ホール	エキシビション（小中学校音楽発表） 記念講演 実践発表（田辺市語り 部ジュニア活動）

詳しくは、ホームページをご覧ください。

問学校教育課 指導係（市民総合センター3階）

0739（26）9942

https://www.city.tanabe.lg.jp/gakkou/sekaiisan-gakushu.html



▲紀南文化会館での語り部発表会

小学生以上の方ならどなたでも参加できます

第50回新春田辺長距離走大会

■令和6年1月6日㊁（予備日1月7日㊁）

※小雨決行、荒天時中止

毎9時～14時（受付7時50分～8時50分）

場田辺スポーツパーク陸上競技場

■小学生以上の方

■右表の通りです。当日受付にお持ちください。

■12月21日㊁までに、次の方法でお申し込みください。

◇アスリートランキングユーザー

アスリートランキングホームページからお申し込みください。

□ http://www.athleteranking.com/

◇上記以外の方

市ホームページからお申し込みください。

問スポーツ振興課 市民スポーツ係

0739（25）2531

https://www.city.tanabe.lg.jp/sports/sinnsyunncoukyori.html



区分	距離	料金
小学生	1・2年 3～6年	0.8km 1.5km 200円
中学生		3.0km 300円
高校生	男子 女子	5.0km 3.0km 400円
一般	男子 女子	5.0km 3.0km 500円

たすきをつなごう

第2回田辺市民駅伝交流大会～弁慶RUN～

■令和6年1月28日㊁

※雨天及び路面状況により中止

毎9時～12時30分（受付8時～8時30分）

場田辺スポーツパーク陸上競技場

陸上競技場をスタート・ゴールとする周回コース

■小学4年生以上で、次のいずれかに該当する方で構成するチーム

◇市内に在住、在勤、在学している方

◇市内の学校を卒業した方

◇市内を拠点に活動している団体や田辺市スポーツ少年団に所属している方

※学校単位のチーム編成でなくとも可

※仲間の部は、男女混成チームでも可

■無料

■令和6年1月10日㊁までに、申込書を下記へお持ちいただき、郵送又はFAX・メール・ホームページからお申し込みください。申込書は、下記で配布するほか、ホームページからも取得できます。

問スポーツ振興課 市民スポーツ係

〒646-0061 上の山一丁目23-1-1

0739（25）2531

0739（25）0387

sports@city.tanabe.lg.jp

https://www.city.tanabe.lg.jp/sports/shimin-ekiden.html



種目	区間	距離
小学生男子の部 小学生女子の部	5区	7.0km
中学生男子の部 高校生男子の部 一般男子の部	5区	9.4km
中学生女子の部 高校生女子の部 一般女子の部	4区	6.4km
仲間の部	4区	6.4km



